

## ○チャレンジハイク

### 1 活動内容とねらい

グループで、地図に示されたポイントをさがして歩きます。ポイントではクイズや簡単なゲームを行い、時間やクイズ等の得点を競います。協調性、計画性、創造力、判断力を身に付けることができます。



### 2 実施上の基本事項

(1) 期間：年間通して実施できます。

(2) 所要時間とコース：2. 5～3時間

コースはグループの判断により変わります。

(3) 人数・グループ編成

6、7人で、男女混合のグループ編成が望ましいです。

(R8は、くさり場コース、尾根コースを利用して茶臼山を往復する集団登山を推奨しています。)

(4) 事前打合せ

ア 引率者は、コース、人数、実施方法等について所員と事前に打合せを行ってください。

イ コースの危険箇所や分岐点等に指導者を配置してください。

(5) コースの選定と実地踏査

引率者は安全確保の面から事前に実地踏査を行い、コースの状況等を把握したうえで、児童の実態に合わせてコースを選定する等、実施に万全を期してください。

### 3 実施の概要

(1) 役割と活動内容

ア 担当者 1名 (全体総括、当所との連絡調整、指導)

イ 補助者 若干名 (必要物品の借用・返却、ポイントでの出題等)

(2) 使用する用具等

ア 個人装備 (地図、筆記用具、ナップザック類、雨具、帽子、水筒、タオル、ティッシュ等)

イ 団体装備 (クリップボード (班数分)、ビブス (班長着用)、救急薬品等)

※ 無線機 (長距離用)、熊撃退スプレー、熊鈴、エアホーン、クリップボード30枚、ビブス40枚は貸し出しできます。

(3) 実施プログラム例

時間	内 容	指 導 上 の 留 意 点
15分	○集合 ○チャレンジハイクの説明と諸注意	・集合前に必ずトイレを済ませます。 ・人数確認、健康観察、携行品の確認をします。 ・地図をグループに1枚ずつ配布します。 ・地図の見方やゲームのルール、進め方について説明します。 ・植物や昆虫等を採取しないことや、ハチやヘビやクマ、イノシシの被害にあわぬよう藪に入ったり、立木をたたいたりしないよう指示します。
90～150分	○チャレンジハイク ○ゴール	・グループ単位で助け合いながら行動するよう指示します。 ・児童の実態に合わせて時間とコースを設定してください。
15分	○表彰・まとめ・ふりかえり ○事務室への報告と借用物品の返却	・人数確認、健康観察をします。 ・チャレンジハイクの感想を発表させます。 ・次の活動について指示します。

※ 各ポイントでの出題例

- ・1～4の数字を書いた割り箸を引き、点数の合計をポイントとする
- ・引率者2人の年齢の合計を当てる。ピタリ賞を10点とし、減点していく
- ・かごに松ぼっくりを投げ入れる。入った数がポイントとなる
- ・引率者とジャンケンをして、勝った人数をポイントにする
- ・引率者が用意した輪の中に羽を入れた人数をポイントにする
- ・30秒以内にいくつ「しりとりに」ができたかをポイントにする など

### 4 その他

チャレンジハイクはポスト探しゲームにミニゲームを組み合わせたものです。